

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	土木工学科	
情報処理Ⅱ (Information Processing Ⅱ)	担当教員	前期：山田 真義 (Yamada, Masayoshi) 後期：内田 一平 (Uchida, Ippei)	
	教員室	山田：都市環境デザイン工学科棟3階 (Tel. 42-9123) 内田：都市環境デザイン工学科棟2階 (Tel. 42-9117)	
	E-Mail	山田：m-yamada@kagoshima-ct.ac.jp 内田：uchida@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 30回		
〔本科目の目標〕 高度情報化社会にあつて情報処理技術の習得は必須事項となつている本科目では情報収集処理、加工の基本技術と技能を修得することを目標とする。 VBA for Excelを用いた講義と演習を通じて、基本的プログラミング能力を身につける。			
〔本科目の位置付け〕 情報処理Ⅰおよび2年次基礎製図の授業内容の修得が必要である。設計製図関連の科目(基礎製図・構造物設計・橋梁設計)の基礎となる科目である。また、本科目で修得するソフトウェアの操作方法は、工学実験や卒業研究などレポート・論文の作成には必要不可欠である。			
〔学習上の留意点〕 本科目は演習が主であるため、積極的に学習に取り組み、疑問点があれば、その都度授業担当者に質問し、疑問点をその場で無くすこと。レポートは提出ルールや提出期限を厳守すること。 また、課題で与えられているプログラムのパターンを繰り返し、応用すること。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1.Windows アプリケーションの活用	1 3 8	PC の起動・終了および OS へのログオン・ログオフ操作ができる。 Web 検索サイトを用いて情報の検索・絞り込み方法を理解し、活用できる。著作権法の理解を深め、Web 上の著作物に対する対応の仕方を理解できる。情報発信時におけるモラル・マナーを守ることができる。コンピュータウィルス・スパイウェアに配慮することができる。授業項目 1-2 の知識を活用し、必要な情報を入手することができる。	予め配付する資料と図書館の文献等で調べて、概略を理解しておく。
1-1.OS 基礎操作			
1-2.ネットワーク活用			
1-3.プレゼンテーション			
1-4.表計算ソフト	8	使用頻度の高い Excel 関数を利用し、計算を実行できる。グラフウィザードを利用し、グラフ作成後、そのグラフの加工ができる。Excel 上で単純集計・クロス集計を行うことができる。	左の項目について図書館の文献やインターネット等を使って調べて、概略を理解しておく。
---前期中間試験---		前期中間試験を実施し、達成度を確認する	
2.情報工学基礎	4	2進数と16進数の概念を理解し、2進数・10進数・16進数の相互変換ができる	左の項目について図書館の文献やインターネット等を使って調べて、概略を理解しておく。
2-1.2 進数と16進数			
2-2.フローチャート	6	フローチャートで使用される記号と働きを理解できる。 簡単な構造(繰り返し・条件分岐含む)のフローチャートを読み書きできる。	左の項目について図書館の文献やインターネット等を使って調べて、概略を理解しておく。
---前期末試験---		授業項目 1-2 について達成度を確認する	

